

昭和二十四年四月——六月
日本銀行勘定による日本銀行券増減原因分析

食糧証券	(-) 一二、三二七	農林中央金庫へ売却超	九、〇三一
		閉鎖機関へ売却	一、九二七
		市中銀行等へ売却超	八四五
		市中銀行等へ売却	一三、六二六
		市中銀行等へ売却	八七
復興金融債券	(+) 二一、七六一	市中銀行等へ売却	七八
		農林中央金庫より買入超	八、三〇〇

代理店勘定	(+) 八一
其他	(+) 三三、七二八
(負 債)	
其他預金	(+) 一、五一六
其他	(+) 一、一六四

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金、地方公共団体貸付金等民間関係と見なされるもの、収支を見ると、郵便貯金の増加三十億円、復興金融債券の償還五十四億円等があつたため五十八億八千五百万円の収入超過を示しているから、之を民間関係より差引き政府関係に加える。次に日本銀行は農林中央金庫に対し、月中百四十二億九千七百万円の資金供給(内政府指定預金百五十億円)を行つたが、右の内百十八億三千九百万円は食糧及び薪炭買入の爲め政府に代わり立替払をしたものと考えられるを以て、此の額を民間関係より政府関係に移す。更に本月発行の復興五分利国庫証券十二億円を日本銀行よりの借入金、政府指定預金の受入、同行に対する国債その他証券の売却等、同行より供給された資金を以て消化したと見られるもの八億二千四百万円は政府に対する信用供与と見なし、民間関係より政府関係に移す。かくて対政府関係に基づく収縮額は二百七十三億六千三百万円となるに反し、対民間関係に於ては百七十四億六千二百百万円の膨脹を示したこととなる。尚資産勘定に於て其他勘定が三百七十一億円の激増を示すに至つたのは主として政府指定預金により三百十六億円に上る預け金勘定が生じたためであり、之により貸出金は四十五億円の減少を見た。(黒崎)

日本銀行券増減原因分析 昭和二十四年四月——六月

(1) 一、四月中
四月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

資 産		負 債	
政府貸上金	(+) 一五、〇〇〇	日本銀行券	(+) 三、三八五
貸 出 金	(+) 六、八六八	政 府 預 金	(-) 二、九一五
国債其他証券	(-) 一〇、三八二	其 他 預 金	(+) 二、一三九
内訳		其 他	(-) 一、三六九
政府関係	(-) 四、九二二		
民間関係	(-) 五、四六〇		
代理店勘定	(+) 八二		
其他	(-) 一〇、三二八		
計	(+) 一、二四〇	計	(+) 一、二四〇

(2) 本年一月以降毎月収縮を示していた日本銀行券は本月に入り漸く三、三八五百万円を増加したが、右によれば政府との取引に於ては一二、八九三百万円の膨脹をみたのに反し、民間との取引に於ては九、五〇八百万円の収縮を示したこととなる。

◎対政府関係 (算定の基礎) (単位 百万円)

政府貸上金	(+) 一五、〇〇〇
国債其他証券	(-) 四、九二二
食糧証券	
其 他	(-) 一、八五六
(負 債)	
政府預金	(-) 二、九一五
引換	受入九、七〇〇 還付四、八二二 預金部へ売却超四六、八〇〇

其 他 (一) 一、七五六

◎対民間関係 (一) 九、五〇八 (単位 百万円)

(算定の基礎)

(資産)

貸 出 金 (十) 六、八六八

国債其他証券 (一) 五、四六〇

国 債 (十) 五七六

食糧証券 (一) 八、七六七

復興金融債券 (十) 二、七三一

代理店勘定 (十) 八二
其 他 (一) 八、四七二

(負債)

其 他 預 金 (十) 二、一三九

其 他 (十) 三八七

復興金融債券償還に伴う五分半利国債受入 八一九
生命保険会社への売却 二四九
市中より買入 六
復興金融庫への売却 五一五
閉鎖機関へ売却 六、六三一
超農林中央金庫へ 六三七
市中銀行等へ売却 九八四
市中銀行へ売却 八一九
農林中央金庫より買入 三、六五八
市中銀行へ売却 一〇八

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金、地方公

共団体貸付金等民間関係と見なされるものの収支は一七六百万円の支払超過を示しているから、之を政府関係より差引き民間関係に加える。次に政府は市中保有復興金融債券の償還資金として復興金融庫に対し月中七八〇百万円の出資を行ったが、之は産業資金である故消費的財政資金による通貨の増減を算出するには政府関係より控除するのが適当であろう。更に市中所有食糧証券の償

還中、その資金によつて日本銀行から新規に買入れ、結局実質的に借替えられたとみられるもの一三、一八一百万円は対政府関係の膨張、対民間関係の収縮額より控除すべきである(註)。かくて対政府関係に基く収縮額は一、二四四百万円となるのに対し、対民間関係に於ては四、六二九百万円の膨張を示したことになる。

(4) 右の如き資金の流出入を主要勘定の動きを通して見るに、先づ対政府関係に於ては政府貸上金が貿易特別会計一〇、〇〇〇百万円と旧貿易資金特別会計五、〇〇〇百万円により一五、〇〇〇百万円の増加を示した。従つて対政府関係流出の直接的要因は此の貿易資金にある訳であるが、政府資金全体としては徴税の一段落と本年度予算成立による支払進捗があることは見逃せない。次に対民間関係に於ては貸出金が六、八六八百万円増加したが、之は農林中央金庫より一〇、四〇〇百万円の政府指定預金が増加したため、同金庫に対する貸出が七、四一二百万円増加した結果で市中銀行関係では却つて減少を示している。此の原因は市中銀行の預金が大幅の減少を示したものの貸出増加は僅か七、〇〇八百万円に過ぎず、且つ政府指定預金も四、九〇〇百万円増加したことにある。尚対民間関係資産勘定其他が月中八、四七二百万円減少しているのは政府指定預金の引揚超過五、五〇〇百万円(預入一八、五〇〇百万円、引揚二四、〇〇〇百万円)と本支店勘定の減少によるものである。かくて政府資金撒布超過額を超えるものが食糧証券の実質的借替となり、対民間関係を通じて日本銀行に吸収せられ、従つて金融市場の実勢としては寧ろ対民間関係を通じて流出した日本銀行券の若干が対政府関係を通じて吸収せられたこととなる。

二、五 月 中

(1) 五月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

資 産		負 債	
政府貸上金	(十) 一〇、〇〇〇	日本銀行券	(一) 九、九九四
貸 出 金	(一) 一四、七〇八	政府預金	(一) 九九九

(単位 百万円)

国債其他証券	(+) 三、〇九二	其他預金	(-) 三、五六九
内訳		其他	(-) 六、三七二
政府関係	(+) 八、五四八		
民間関係	(-) 五、四五六		
代理店勘定	(-) 一、三九〇		
其他	(-) 一七、九二八		
計	(-) 二〇、九三四	計	(-) 二〇、九三四

(2) 前月一時膨張を示した日本銀行券は本月に入り再び九、九九四百万円を収縮したが、右によれば政府との取引に於ては二三、八二〇百万円の膨張をみたのに反し、民間との取引に於ては三三、八一四百万円の大縮の収縮を示したことになる。

◎対政府関係 (単位 百万円)

(算定の基礎)	
(資産)	
政府貸上金	(+) 一〇、〇〇〇
国債其他証券	(+) 八、五四八
食糧証券	(+) 五、六六八
薪炭証券	(+) 二、八八〇
其他	(-) 二、〇一〇
(負債)	
政府預金	(-) 九九九
其他	(-) 六、二八三
計	(-) 三三、八一四

食糧証券	(+) 五、六六八	引金部より買入	受還 一五、〇〇〇
薪炭証券	(+) 二、八八〇	引金部より買入	受還 二、六五〇
其他	(-) 二、〇一〇	引金部より買入	受還 四、一七〇
計		引金部より買入	受還 一、二九〇

◎対民間関係 (単位 百万円)

(算定の基礎)	
(資産)	
貸出金	(-) 一四、七〇八
国債其他証券	(-) 五、四五六
計	(-) 二〇、一六四

国債	(+) 六、二七二	復興金融債券	六、〇五二
食糧証券	(-) 五、六七五	復興金融債券	一、五五五
薪炭証券	(-) 二、八八〇	復興金融債券	三、七三四
其他	(-) 二、〇一〇	復興金融債券	三八六
計	(-) 一〇、一六四	復興金融債券	

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金、地方公共団体貸付金等、民間関係と見なされるものの収支は地方公共団体貸付金が四、三五九百万円を増加したため二、三四八百万円の支払超過を示しているから之を政府関係より差引き民間関係に加える。次に農林中央金庫の食糧及び薪炭代金前受金勘定の月中増加一一、九四九百万円の内日本銀行よりの借入金返済に充当された四、五一三百万円は同金庫立替金の返済とみなし、政府関係より民間関係に移す。更に復興金融金庫に対する出資金九四七百万円、船舶公団に対する出資金二、六六〇百万円、その他出資金一八二百万円、合計三、七九〇百万円は産業資金とみなし、之も政府関係より民間関係に移す。更に市中所有食糧証券の償還中日本銀行より食糧証券を買入れることにより結局実質的に借替えたとみられるもの四、一四〇百万円は対政府関係の膨張、対民間関係の収縮額より控除する。かくて対政府関係に基く流出額は九、〇二九百万円となるのに対し、対民間関係に於ては一九、〇二三百万円の収縮を示したことになる。

なる。

(4) 右の如き資金の流出入を主要勘定の動きを通して見るに、先づ対政府関係に於ては政府貸上金が一〇、〇〇〇百万円増加しているが、之は国有鉄道公社発足に際し従来借入れていた国庫余裕金の返済資金として国有鉄道事業特別会計へ貸上を行ったことによる。更に国債其他証券に於ても食糧証券、薪炭証券の引受超過により八、五四八百万円を増加した。更に負債勘定其他が国庫送金為替の減少と前期損益金処分による二、一四三百万円の国庫納付金を主因として六、二八三百万円の減少を示した。かくの如く政府が日本銀行より資金の調達を行ったのは結局前月下旬成立の本年度予算に基く政府諸支払が漸く活潑化したことを示すに外ならない。次に対民間関係に於て貸出金が一四、七〇八百万円の減少を示しているが、之は農林中央金庫が四、五一三百万円、銀行が九、七二八百万円夫々減少したことによる。又国債其他証券は食糧証券の売却により五、四五六百万円を減少した(復興金融債券の償還六、〇五三百万円は同額の五分半利国庫債券による代物弁済であるため国債の増加により相殺されている)。更に資産勘定其他が一五、九一八百万円減少しているが、之は政府指定預金の引揚一四、九〇〇百万円によるものである。かくの如く本月に於ては対政府関係を通じて流出した額を超える資金が対民間関係を通じて還流し結局九、九九四百万円の日本銀行券の収縮をみたのであるが、之は市中銀行の預金増加が三六、六二六百万円(同業者預金を除く)の多額に上つたにも拘らずその貸出増加が一〇、六二六百万円に止まつたことによるものである。

三、六 月 中

(1) 六月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

資 産		負 債	
政府貸上金	出 金	日本銀行券	政府預金
(+) 九、六一一	(+) 九、六一一	(-) 五、三〇九	(-) 五、三八九
国債其他証券	其 他	預 金	其 他
(-) 二四、五五五	(-) 二四、五五五	(-) 三三二	(-) 一、七一九
内訳	民間関係	其 他	其 他
(-) 一四、一三七	(-) 一四、一三七	(-) 一、七一九	(-) 一、七一九

(単位 百万円)

代理店勘定 (-) 一九五
其 他 (+) 二、四〇〇
計 (-) 二、七三九

計 (-) 二、七三九

(2) 前月に引き続き日本銀行券は月中五、三〇九百万円の収縮を示しているが、右によれば政府との取引に於て三、七二二百万円、民間との取引に於て一、五八八百万円夫々収縮を示したことになる。

◎対政府関係

(-) 三、七二二

(単位 百万円)

(算定の基礎)

国債其他証券

(-) 一〇、四一八

食糧証券 (-) 九一

復興金融債券 (-) 五、三三七

其 他 (-) 五、〇〇〇

政府預金 (-) 二九八

其 他 (-) 五、三八九

政府預金 (-) 一、六〇六

其 他 (-) 一、五八八

◎対民間関係

(-) 一、五八八

(算定の基礎)

貸 出 金 (+) 九、六一一

国債其他証券 (+) 一四、一三七

国 債 (+) 六、一二九

復興金融債券 五、七三六
還に伴う五分半 七三
利国庫債券受入 一五六
資金融合銀行の 一六〇
代物弁済金庫の 四
生命保険会社よ
りの買入超
市中より買入

食糧証券	(-) 一五、三三二	復興金融庫へ売却超	三、九五九
		閉鎖機関へ売却	六、三一
		農林中央金庫へ	四、六八七
		市中銀行等へ売却超	三七五
		国民金融公庫へ償還	五、七三六
復興金融債券	(-) 四、九三四	市中銀行より買入	四〇〇
			一、二〇二

代理店勘定	(-) 一九五
其他	(+) 二、六九八
(負 債)	
其他預金	(-) 三三二
其他	(-) 一一三

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金、地方公共団体貸付金等民間関係と見なされるものの収支は郵便貯金の増加を主因として三、九〇三百万円の収入超過を示しているから、之を民間関係より差引き政府関係に加える。次に復興金融庫に対する出資六七三百万円、国民金融公庫に対する出資一、三〇〇百万円、油糧配給公団に対する出資一、五〇〇百万円合計三、四七三百万円は民間関係に加える。更に市中所有食糧証券の償還中実質的に借換えられたものとみられる一三、四九四百万円は対政府関係の膨張、対民間関係の収縮額より控除する。かくて対政府関係に於ては一六、七八五百万円の収縮を示したのに反し、対民間関係に於ては一、四七六百万円を膨張したことになる。

(4) 右の如き資金の流入を主要勘定の動きを通して見るに、先づ対政府関係に於ては国債其他証券が一〇、四一八百万円の減少を示している。之は主として食糧証券及び復興金融債券の預金部に對する売却に基くものである。又政府預金が五、三八九百万円を減少しているが、之は同預金が対民間関係に於て五、五〇〇百万円の受超であるにも拘らず対日本銀行関係に於て一〇、九〇〇百万

円の支払超過を来たしたためである。かくて本月の政府資金は一般会計の支払が減少し又食糧管理特別会計の支出も未だみるべきものがなかつたため食糧証券の市中償還が一三、八〇〇百万円に上つたにも拘らず結局引揚超過をみるに至つた。次に対民間関係に於ては貸出金が九、六一一百万円を増加しているが、之は農林中央金庫が一、七〇八百万円、銀行が八、八二九百万円夫々増加した結果である。之に反し国債其他証券は一四、一三七百万円を減じているが、之は市中銀行の社債興業債券買入の爲めにするその所有復興金融債券の買入が一、二〇三百万円あつたにも拘らず閉鎖機関、復興金融庫等に対する食糧証券の売却超過が一五、三三三百万円に上つた結果である。従つて金融市場の実勢としては前述の如く対民間関係の膨張、対政府関係の収縮となつてゐることは市中銀行の預金増加二一、〇三五百万円に對しその貸出増加三三、二七四百万円と五月の三倍以上に及び、その不足資金を日本銀行よりの借入金に仰いでいることによつても知られる。(黒崎)

(註) 本分析は日本銀行が政府及び民間と直接取引する段階に於ける両者の金額を算定するものであるが、従来対政府関係を通じて流出した日本銀行券が民間に於て如何なる径路を通じて日本銀行に流入したかは見ることなく、唯本来対政府関係に属すべきものにして形式的に對民間関係に現われたもの(例えば農林中央金庫が供米代金の立替払をする為め日本銀行より資金供給を受けた場合)或は本来對民間関係に属すべきものにして形式的に對政府関係に現れたもの(例えば預金部に於ける郵便貯金等の増減、復興金融庫に對する政府出資)のみを判明する範圍に於て相互に移換して来た。然るに最近本来政府對民間の相互間にて直接決済せらるべきものであるにも拘らず、その間に日本銀行が介在する為め對政府関係の膨張、對民間関係の収縮となつて現われる金額が増大して来た。即ち具体的には市中所有食糧証券が償還せられた場合、その資金を以て直ちに日本銀行より食糧証券の買入を行えば、之は食糧証券の借替と全く同一で、かかる資金の移動は金融市場に何等影響を及ぼすものではない。従つて四月より此の金額を對政府関係の膨張、對民間関係の収縮原因より除去することとした。